



出雲地区森林組合広報

「緑のこだま・いずも」

組合員数 8,053人

No.16
平成19(2007)
7/12

発行

出雲地区森林組合 出雲市塩冶町967番地1
TEL(0853)22-4433(代) FAX(0853)22-5070
メールアドレス:izurinsomu@m1.izumo.ne.jp

[ホーム](#) | [アクセスマップ](#) | [お問合せ](#) | [サイトマップ](#)



[組合概要](#) | [事業紹介](#) | [森林日記](#) | [間伐材製品](#) | [ミニ原木市](#) | [森林情報](#) | [アンケート](#)

**もり
森林づくり事業**

間伐・除伐・下刈
病虫害被害・倒幹注射

代行★お手入

自宅周りの環境整備

面白い形の原木販売します。

ミニ原木市

だけじゃない!
森林組合!!

森林組合のその他の事業



もっと木づかい 守りたい森の元気 地球の未来

What's New

サイト更新情報

Forest News

森林組合からのお知らせ

- 2007年6月6日 平成19年度 通常総代会
今年度の通常総代会を、5月30日午後2時より出雲地区森林組合 本所....
- 2007年6月6日 6・7・8月(草下刈り)
梅雨から夏にかけて雑草が生い茂り、植林した苗木を覆ってその成長を妨....
- 2007年5月18日 平成19年度 地区総代会・通常総代会開催のご案内(総代の皆様へ)
新年度にあたり下記のとおり地区総代会と通常総代会を開催し、総代の皆....
- 2007年5月18日 森林(もり)の作業カレンダー
1年を通しての作業カレンダーです。
- 2007年5月18日 4・5月(植え付け)

- 2007年6月6日 平成19年度 通常総代会
今年度の通常総代会を、5月30日午後2時より....
- 2007年5月18日 平成19年度 地区総代会・通常総代会 開催のご案内(総代の皆様へ)
新年度にあたり下記のとおり地区総代会と通常総....
- 2007年5月2日 出雲「花と緑」総合フェスティバル 2007
出雲地区森林組合も参加しました。

[お知らせ一覧](#)



[個人情報保護](#)

[リンク集](#)



〒693-0021 島根県出雲市塩冶町967-1 TEL.0853-22-4433 / FAX.0853-22-5070

Copyright ©2007 Izumotiku Sinrinkumiai. All Rights Reserved. Powered by WebPage21 CMS

II 損益計算書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日) (単位:千円)

科目	金額
事業収益	798,569
事業費用	624,816
【事業総利益】	173,753
事業管理費	152,346
【事業利益】	21,407
事業外収益	11,854
事業外費用	10,209
【経常利益】	23,052
特別利益	345
特別損失	1,012
【税引前当期純利益】	22,385
法人税及び住民税額	616
【当期剰余金】	21,769
【前期繰越欠損金】	△16,166
【当期末処分剰余金】	5,603

I 貸借対照表

平成19年3月31日現在 (単位:千円)

科目	金額	科目	金額
現金・預金	16,456	支払手形	6,000
受取手形	4,161	買掛・未払金	87,321
売掛・未収金	280,047	短期借入金	105,000
棚卸資産	19,401	その他流動負債	21,542
その他流動資産	21,296	[流動負債計]	219,863
[流動資産計]	341,361	長期借入金	74,704
有形固定資産	366,644	転貸資金借入	38,965
無形固定資産	19,788	諸引当金	46,938
転貸資金貸付	38,694	[固定負債計]	160,607
外部出資金	35,895	【負債合計】	380,470
その他固定資産	58	[出資金]	404,661
[固定資産計]	461,079	[法定準備金]	13,510
繰延資産	1,804	当期剰余金	21,769
		前期繰越欠損金	△16,166
		[当期末処分剰余金]	5,603
		【純資産合計】	423,774
【資産合計】	804,244	【負債・純資産合計】	804,244

III 剰余金処分

(単位:千円)

科目	積算内訳	金額
【当期末処分剰余金】		5,603
【剰余金処分額】		
法定準備金	当期剰余金の20%以上	1,500
【次期繰越剰余金】		4,103

脚注 次期繰越剰余金中、教育情報資金は300千円である。



出雲地区森林組合通常総代会

平成十九年度

通常総代会開催



《平成19年度 通常総代会提出議案》

- 第1号議案 平成18年度事業報告書・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案・注記表及び附属明細書の承認について
- 第2号議案 定款と規約の一部変更について
- 第3号議案 平成19年度事業計画の設定について
- 第4号議案 平成19年度内における借入金最高限度額決定について
- 第5号議案 1組合員に対する貸付金最高限度額決定について
- 第6号議案 諸手数料率決定について
- 第7号議案 平成19年度役員報酬額の決定について
- 第8号議案 余裕金預け入れ先決定について

5月30日(水)組合本所において、総代本人出席95名のほか代理人、書面議決を含めて156名の出席を得て通常総代会を開催しました。平田地区の福田治夫総代が議長に選任された後、8議案が審議され、すべて原案どおり承認されました。また5月21日からは管内7会場で開催された地区別総代会を開いて事業報告、事業計画等の事前説明と意見交換を行いました。

平成18年度事業活動の概要と 平成19年度の取り組み方向

平成18年度における組合の事業活動は、組合員の皆様をはじめ地域の皆様のご協力とご支援により、当初の計画を上回る7億9,800万円の事業取扱高を達成することができました。16年度、17年度と不本意な事業成績でありましたので、18年度は業績の改善・回復を図ることが最重要課題であり、役員一丸となって、経営改善計画の実践と業務改善に努めました。その結果、当期剰余金も予定を上回る2,176万円を計上する事ができました。組合員の皆様のご理解とご協力に対し深く感謝申し上げます。森林、林産業関連予算は歳出規模の抑制など財政的にも心理面からも厳しい状況は続いています。昨今新たな動きも見られ国においては、京都議定書森林吸収目標達成対策による18年度補正予算及び19年度予算に765億円が計上され、森林整備に重点をおいた取り組みがみられます。

又、木材の動向においては、外材の輸入の減少による国産材の活用が利用間伐等中心に生産拡大への動きが注目されます。材価の上昇は直ちに期待できませんが生産意欲を高める可能性が感じられます。島根県においては、「新しまね森林・林業活性化プラン」の後期行動計画が策定され、「緑豊かな森づく

りと森林資源を活かした循環型社会」を目指した施策が展開されることとなりました。

このような情勢の中で当組合は経営の健全化を図るため引き続き業務改善に取り組み、経営基盤の確立に努めます。

事業展開、業務運営においては、組合員や地域の皆様の組合に対する要求を正しく理解し、満足度を高めるための提案や実行を推し進めます。

このため、ホームページの充実や座談会の開催による情報発信、商品のPRや施業提案に努めます。

加工部門のチップ事業は、国産チップの需要が高まっていますので、原木の集荷に一段と努力して増産に努めます。

加工事業は、間伐材(スギ、ヒノキ)の有利販売を更に進めるため、工場の施設や機械をフルに活用し付加価値を高めた商品の販売による事業の拡大を図ります。

森林整備部門は、地域の森づくりを促進させるため、出雲市との連携による新規事業「3F事業」の実践をはじめ、木材生産団地化推進プロジェクト等行政の施策と繋がりを持った事業を推進します。

又、木質バイオマス事業では、資源の循環利用や組合員の生活環境及び地域の環境整備に貢献できる事業も積極的に取り組みます。

一方、事業を展開するに当たっては、安全第一を徹底させ、リスクの先取りによる事故のない組合運営に努めます。

将来に引き継ぐ多様な機能を持続的に発揮できる地域の森づくりと森林資源を活かした組合活動に役員・作業員が力を結集して邁進致す所存でありますので、ご支援ご協力をお願い致します。

水と緑の森づくり 「県民再生の森事業」

水を育む緑豊かな森を次世代に!

島根県では「水と緑の森づくり税」を財源として、
 荒廃した森林を「水を育む緑豊かな森」へ再生するため、
 不要木の伐採等に係る経費を助成しています。
 あなたもこの交付金を活用して森林の整備をしませんか。



助成の内容

対象林	●10年以上間伐がされていない36年生以上の人工林（スギ、ヒノキ林） （面積は問いません。36年生以上を主体として一体的な整備を行う場合は36年生未満のものも対象となります。）
実施条件	●森林所有者と県による「県民再生の森協定」を締結すること （森林組合等に施業を委託して実施することができます。）
整備内容	●不要木の伐採（本数率でおおむね30%以上を間伐します。対象人工林に竹が侵入している場合はその竹も伐ることがあります。） ●必要に応じて広葉樹を植栽することができます。（50本～300本/ha）
交付金	■基本的に森林所有者の負担はありませんが、標準経費以上に掛かる場合は、自己負担が生じる場合があります。 ●不要木の伐採…13万円/ha（整備前成立本数1,700本以上/haの場合） 10万円/ha（〃 1,700本未満/haの場合） ●広葉樹の植栽…32千円～197千円/ha（植栽本数に応じて） ●侵入竹の伐採・整理…68千円～619千円/ha（竹粗密度に応じて）

36年生以上の荒廃人工林



イメージ写真

再生

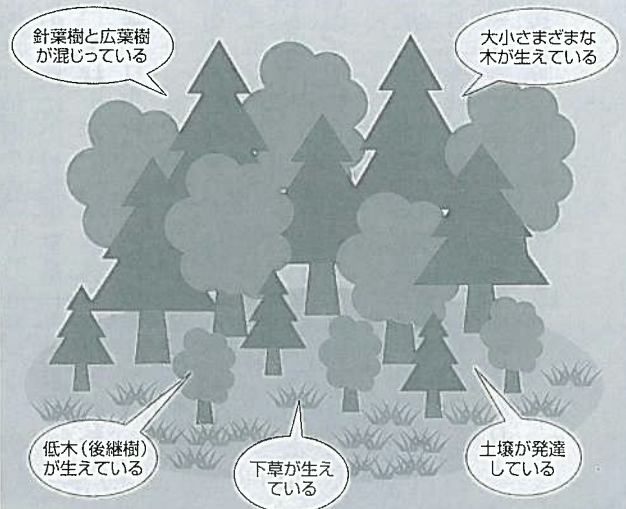
整備後初期のイメージ



広葉樹等の下層植生回復

将来イメージ

水を育む機能が高い森林



詳しいことはこちらへご相談ください

- 島根県東部農林振興センター 出雲事務所
林業普及グループ 電話 0853-30-5581
- 出雲地区森林組合 電話 0853-22-4433



造林系の事業紹介



木材生産団地化

森林の施業・経営の集約化を行い木材生産コストを軽減させる。

森林資源情報を商品情報として一元管理して生産規模の拡大を図り、木材の安定供給体制を整備する。

森林施業計画

森林所有者等がその所有または経営する森林について自発的に作成する具体的な伐採・造林等の実施に関する5カ年の計画

(メリット)

施業計画樹立すれば造林関係補助事業の優遇あり

森林整備地域活動支援交付金

森林所有者の皆さんが山の手入れを進めるための準備作業を支援

(森林の現況調査・施業区域の明確化・歩道の整備)

施業集約化情報集積事業

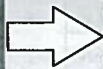
利用間伐対象森林を取りまとめ、作業路網の計画・整備・高性能林業機械の導入を行い、効率的な低コスト林業生産を進める

伐採可能データを需用者に提供する。

シカ被害対策事業 (間伐枝条巻付)

北山(弥山山地)地域のシカ被害対策として

間伐をし、その生枝を利用して残存木に巻き付ける枝条巻付(立木剥皮防止)事業



上記以外にも、山林保育等様々な事業を行っています。
山林管理も含め詳しくは森林組合 業務課造林係までお問い合わせ下さい。

電話 (0853) 22-4433

加工工場だより

—ログ『バス待合所』完成—

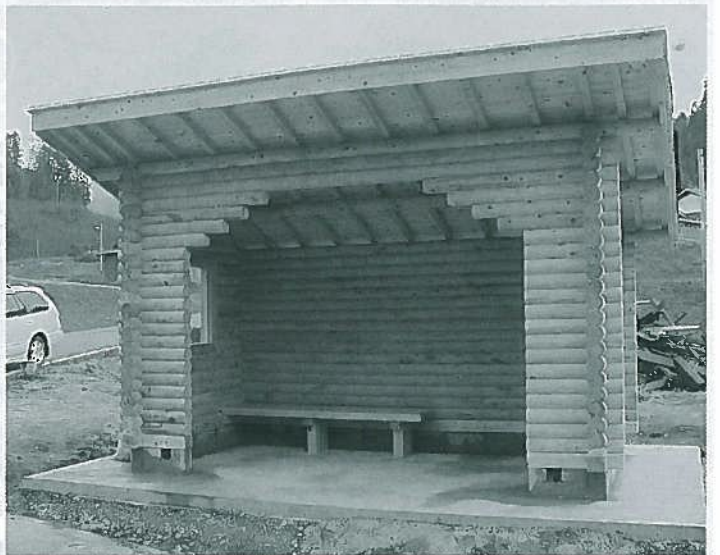
平成18年度 島根県の「水と緑の森づくり税」の資源活用実践事業の1つとして、バス待合所の設置（委託）をおこないました。

これは所有者から、間伐材を提供してもらい朝山の加工工場で丸棒にし、さらにログハウス式組立加工をほどこして、現地で組み上げたものです。

腐れにくくするための薬剤加圧注入も朝山加工工場で行っています。

初めての企画でしたが、立派にできたと自慢しているところです。協力して頂いた大工さんや松の間伐材（良材）を提供して頂いた所有者さんに感謝申し上げます。

加工工場長



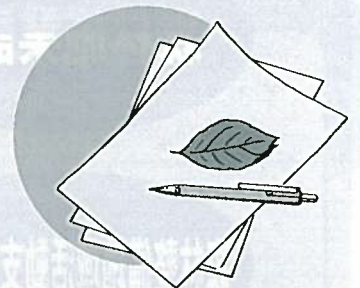
(W3,700×D1,700×H2,500mm)

チップ工場だより

チップ工場では、毎日60～70tの原木をチップ加工して、約30tの紙の原料となる木材チップ（40×40×5mm）を生産しています。木材チップは、米子の王子製紙に出荷しています。

木材チップは、90%近くが外国から輸入されていますが、最近では外材の輸入が減少していますので、国産材チップも注目されています。

現在 工場では、チップにする木材が不足しています。処分にお困りの木がありましたらご連絡下さい。



『座談会』の開催

出雲地区森林組合では組合員の皆様と地域森林の現状と今後の方向性について話し合いの場を持ち、皆様と共に出雲の森づくりを検討していこうと、平成19年度事業として「座談会」を計画しました。

それぞれの地区の森林の現状に合った森づくりを提案したいと考えています。組合員の皆様のご出席をお待ちしています。

地区名	対象地区	開催日程	会場
出雲地区	① 今市、大津、塩冶、高松、鷹巣、高浜、川跡、四絡	8/1(水) 午後7時～	森林組合 本所
	② 朝山、乙立	8/2(木) 午後7時～	朝山コミュニティセンター
	③ 古志、神門、神西、長浜	8/3(金) 午後7時～	神西コミュニティセンター
	④ 稗原、上津	8/4(土) 午後2時～	稗原コミュニティセンター
平田地区	① 北浜、西田、鱈淵	8/4(土) 午後7時～	西田コミュニティセンター
	② 伊野、東、檜山	8/5(日) 午後7時～	東コミュニティセンター
	③ 佐香、久多美、平田、灘分、国富	8/9(木) 午後7時～	JA久多美支店
佐田地区	① 反辺、朝原、須佐、原田、大呂、吉野	8/7(火) 午後7時～	スサノオホール
	② 八幡原、毛津、一窪田、東村、高津屋、佐津目、上橋波、下橋波	8/8(水) 午後7時～	窪田コミュニティセンター
多伎地区	① 多伎全地区	8/5(日) 午後2時～	多伎コミュニティセンター
湖陵地区	① 湖陵全地区	8/10(金) 午後7時～	湖陵コミュニティセンター
大社地区	① 大社全地区	8/11(土) 午後2時～	燦プラザたいしや
斐川地区	① 斐川全地区	8/11(土) 午後7時～	斐川中央公民館

※上記のとおり管内を13地区に分けて予定しております。詳しい内容は別紙チラシをご覧ください。



林地用除草剤の紹介

クズコロン クズコロンは株の頭に滴下するだけで
やっかいなクズを根まで枯らします

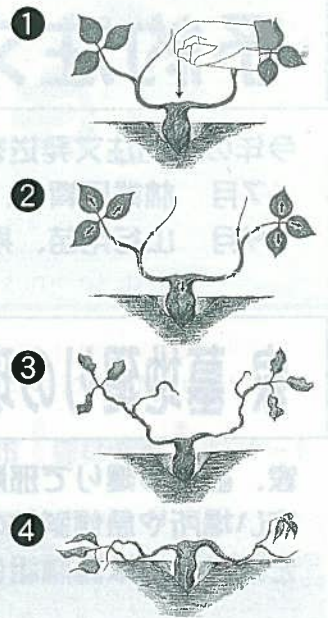
◆クズ防除の上手な使い方◆ 処理後の効き目の現れ方

- ①吐出口を下に向け、クズの株頭との間を2cmほど離します。容器は右図のように少し起こし気味にし、吐出口が株頭の中心にくるようにします。ノズルの頭部を押します。
- ②処理後直ちにクズ株頭の表皮から吸収され、その後木質部および韌皮部を経て生長点および根の先端の分裂組織にたまります。

- ③処理後2日目頃から葉の奇形捻転症状が現れます。
- ④やがて葉が黄化、褐色し、生長を停止して枯死します。

散布時期 4月～11月

株頭の高さに応じて定量を滴下して下さい



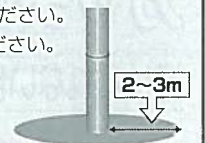
デゾレートAZ粒剤



◆タケ・ササ防除の上手な使い方◆

ポイント①：効果的な処理方法

- ◆薬剤はタケ・ササの根元だけでなく、周辺まで全面処理してください。
・株元を中心に半径2～3mに広く処理してください。
・処理部分の枯葉を除去してから散布してください。
- ◆土壌には適度な水分が必要です。
- ◆枯れ始めるまで1～2ヶ月かかります。



ポイント②：春の散布(3～6月頃)→小さいうちが最も効果的です!

- ◆春季「タケノコ発生時」に散布。

ポイント③：秋の散布(9～10月頃)→翌春の発生も抑えます!

- ◆タケ・ササの大きさに応じて薬量を調整してください。

松枯れ防止／樹幹注入剤

低薬量と高い効果で松をガード

マツガード®



マツガードの特長

- ①有効成分は環境にやさしい天然物です。
- ②殺センチュウ活性が高いので、低薬量でも高い効果が期待できます。
- ③効果の持続期間が長く、施用後3年～4年は効果が安定しています。
- ④薬量が少なく吸収性が高いので、短時間で注入でき、施工の効率化がはかれます。
- ⑤寒冷地でも効果は安定しています。
- ⑥いやな臭いがありません。
- ⑦容器が小さいので、運搬や使用後の空容器の廃棄の費用が少なくて済みます。
- ⑧注入孔径が6mmと小さいため松樹体への負担が少なくて済みます。(6～7mm対応可能)

作用特性

- ①マツノザイセンチュウに対し高い殺センチュウ効果を示します。
- ②速効的に作用します。
- ③抑制性神経系に作用しますので、作用発現とともにセンチュウの運動性が著しく低下します。

※森林組合で施工いたします。ご相談下さい。

予約注文のご案内

今年の予約注文発送を下記のとおり予定しております。ご利用ください。

7月 林業用資材、薬剤、燃料

9月 山行用苗、果樹苗、花木、しいたけ原木、きのこ種菌



家、墓地廻りの環境整備 おまかせください

家、墓地の廻りで邪魔になってきた木の伐採、
広い場所や急傾斜地の草刈をお願いしたい！
そんなときは森林組合にご相談ください。



8つの災害から あなたの森林を ガッチリガード

FOREST INSURANCE
森林
国営保険



避けられない自然災害から大切な森林を守ります。

<p>火災 山火事で受けた損害</p>	<p>風害 暴風による幹折れ、根張りなどの損害</p>	<p>水害 豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害</p>	<p>雪害 大雪積雪による幹折れ、根張りなどの損害</p>
<p>干害 乾燥による枯死などの損害</p>	<p>凍害 凍結、暴風などによる枯死などの損害</p>	<p>潮害 潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害</p>	<p>噴火災 火山噴火による落石、幹折れ、埋没、根張りなどの損害</p>

— 少ない掛け金で頼りになる補償を—
お申込み・ご相談は森林組合へ

鹿・猪の被害対策に!!



電気牧柵機・ステンネット・格子金網の販売・施工をしております。ご用命ください。

表紙

この表紙は、三月にリニューアルした出雲地区森林組合のホームページです。組合事業の紹介から、日々の現場の様子等を掲載しています。組合員の皆様にも広く活用して頂き、広報誌同様愛顧頂きます様よろしくお願致します。

あとがき

間伐と違法森林伐採と地球環境

日本の森林面積の約40%が人工林です。人工林は天然林と違い間伐し手入れをしないと森林の機能を果たしません。そして日本は自国の間伐期の森林を伐採しない代わりに他国の森林を伐採して競争力低下により、業退と国産材競争力低下により、他国の材のほうが比較すると価格が安いからです。それが全て良くない事ではありません。その一部違法に伐採され輸入された材があるのも事実です。

このことでは言えるのは、日本は資源を無駄にしているということです。豊かな水、豊かな土地、自然環境を作り守っているのは森林です。私たちが心も体も豊かに生活できるのは、森林があるからと言っても過言ではありません。

森林は水を貯め、空気をつくり、食物をつくり出します。私達の未来には森林があることが根底にあると思います。

現代科学が急激に進歩していますが、森林(自然環境)なしで生活できるほど進歩はしていません。将来できるほど考えるならば、それは人間の自惚れです。

未来を築くこと、地球環境を保全することは、また人間の心を豊かにすることは、森林を豊かにすることだと考えています。